

対談

森山浩行衆議院議員と「市民の命の大切さについて」



(水谷) 今日はありがとうございます。私の政治活動は「いのち」を基本にしていますが、堺市では三次救急病院の施設整備に取り組んでいます。私たち政治家が最も大事にしないといけない市民の「いのち」が、他に比べて守られていないことに危機感をもって推進しています。

(森山) こちらこそありがとうございます。いつも堺市北区の地元とともに活動する同志である水谷議員は、当選一期でありながら市議会会派幹事長の重責を担っておられます。

勿論「いのち」に格差があってはならないというのは当然の問題意識だと思います。我々の政権では身近な「診療所」、救急車で運び込む「二次救急」に加え、100万人規模に1人の特に難しい手術が緊急に必要な患者のための「三次救急」開設補助をしています。

(水谷) そう、その三次救急が大阪府の11医療圏の中で唯一堺だけなのです。ただ患者のみなさんが「大きな病院が安心」と殺到しても本来の救急患者を診れなくなって困りますから、普段お付き合いする「かかりつけ」の診療所から紹介してもらってから来てもらえるよう呼びかけたいと思います。

(森山) カルテのやりとりや普段からの健康チェックで「かかりつけ」の医師に自分のからだのことはわかっておいてもらうのが、一番の安心につながります。救急で運ばれても誤診が減り

ます。「地域での病院と診療所の役割分担」についてもハッキリしていきますよ。

(水谷) そうですね。市議会にいて歯がゆいのは国の制度です。国の予算を「つけてやる」という対応、とかタテワリ省庁をこえて予算を使つてはいけない、とか。

地域には、そんなことより“もっと、直接「いのち」を守るのに！”というアイデアが、まさに生活の現場にあるというのに…。

(森山) それに政権交代で初めて本格的に取り組めるようになったのが「地域主権改革」です。

国の出先機関も廃止して国から大阪府、大阪府から堺市へ、どんどん権限もお金も移しますから、市議会の役割はますます重くなりますね。

(水谷) 「いのち」を守るためにも、しっかり受け止めますね。

(森山) 今日はありがとうございました。

春には決戦が控えています。私ももちろん全力でサポートしますが読者の皆様には是非、水谷議員の応援をお願いします。

(水谷) 今日はありがとうございました。ひとりひとりの「いのち」を大切にする堺市を目指してがんばります。



2011年新春
堺市北区版
号外
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本
生活が第一



民主党は、2011年4月実施の
堺市議会議員選挙において
みずたに一雄
を北区の公認候補に決定!

私は、「一人ひとりのために 活力のまち 堺」というスローガンに加え、“人の命・地域の命・社会の命”、この「**三つの命を守る**」活動展開をしております。

児童虐待、高齢化にともなう孤独死などが発生しておりますが、これらの対策の早期実施により、まずは子ども達や高齢者の方々の「人の命」を守ることです。二つ目の「地域の命」については、お隣、ご近所のコミュニティの再構成であります。防犯活動や防災活動、ライフラインの確保、地域連携の大切さの再認識、協働精神の充実などを目指しております。三つ目の「社会の命」を守る活動については、保険、雇用、医療、介護などの市民生活を守るセーフティネットの充実であります。

これらの「三つの命」を守る活動の原点は現場にあると思っています。現場の課題をひとつひとつ解決することが大切であり、この想いを実現するために、残りの期間を力一杯頑張っております。是非とも、皆様の温かいご支持、ご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

みずたに一雄 プロフィール



- 昭和28年8月14日生
- 科学技術学園工業高等学校卒業
- 産業能率大学卒業
- 関西電力株式会社勤務
- 愛称：みずさん(みーさん)
- 堺市北区東三国ヶ丘町2-1-4-103
- 資格、他：防災士 / 福祉住環境コーディネーター ・ 宅地建物取引主任者
- ・ 交通荣誉章緑十字銅賞受賞 ・ 剣道(錬士6段)
- 所属：議会運営委員会 ・ 建設委員会 副員長 ・ 大都市建設対策特別委員会
- ・ 社会福祉審議会

Information

●過去の活動報告書内容は、全て「みずたに一雄」HPにて掲載しております。詳しくは下記へアクセスしてください!

<http://www.mizutani-kazuo.com>

●その他、日々の活動はブログにて随時更新中!

<http://blog.mizutani-kazuo.com/>

●お電話、ファックスはこちらから

TEL/FAX.072-258-8686

皆さまのご意見をお寄せください。

一人ひとりのために 活力のまち 堺

～みずたに一雄 日々の活動～

(みずたに一雄オフィシャルブログから)

新病院整備・市民の思いを大切に！

2年前に新病院に関しての将来ビジョンが策定された時点より地元校区などへの説明や、市民の皆さんにパブリックコメントをいただきながら計画が進められていました。今年3月の議会で、新病院建設についての質問がなされており、竹山市長は「現在の病院を移設すべきではなく、何とか現在の病院を補強改修して3次救命救急センターを併設できないか?」と再検討していました。

結果的には、技術的面や病院運営を継続しながらの工事は難しい、と総合的な判断をされ、津久野周辺に移転し新病院を建設するとしています。

現在、新病院建設計画(案)が市民の皆さんに出され、新たにパブリックコメントをいただいております。その内容につきましては、市のホームページにアップされています。

私は、3次救命救急センターなど新病院建設計画(案)を、市民のみなさまの意見を踏まえながら充実させ、早急に整備をして欲しいと思っています。

市民の命を守る病院、市民のみんなが必要な病院、「こんな病院にして欲しい」と言った新病院をつくって欲しいと思っています。

武道教育における 武道館設置を切望！

今年度における武道振興に向けた取り組みについて議会で質問し答弁をいただきました。

平成24年度から中学校の保健体育授業で武道が必修化され、今後、数多くの中学生が武道に親しむ機会が増え、地域の体育館においても身近で武道が親しめる環境を整えることが必要です。

市内で活動されている柔道・剣道・空手・なぎなた・相撲・弓道・少林寺拳法・太極拳の8つの武道団体の方々に協力をいただき、アンケート調査を実施しました。

また、市内の施設管理者に対する実態調査、政令都市18市に対しても調査しました。市の取り組みに対して、今後の調査を踏まえて武道館設置につながるよう要望しました。

市民後見人制度の導入を！

市民後見人制度について堺市の取り組みを聞きました。高齢化の進展で、今後、成年後見人制度の利用が増加してくるものと考えます。

制度の必要な人の中には、親族がおられないなどの理由で、親族を後見人とすることができない人もおられます。

また、弁護士などの専門職後見人に依頼するにも、専門職の不足や報酬の支払いなど経済的な理由で利用できない人もおられ憂慮しています。

身近な市民が継続的に支援を必要とする人をボランティアで見守る仕組みとして、市民後見人制度を導入する自治体が増えおり、堺市の取り組み状況について質問したところ、「市民後見人制度の導入は、認知症高齢者、障害者の地域への移行などによる成年後見人制度の利用ニーズの増加に有効な手段の一つと考えています。市としては、先進自治体の取り組みを参考としながら、堺市における権利擁護の関する検討会によるご意見などをいただきながら、考えを取りまとめていく。」との答弁をいただきました。

12月定例議会を終えて…

◆7項目を大綱質疑！

下記7項目について大綱質疑を行いました。

・区民まちづくりビジョンへの取り組みについて

区役所を拠点とした市民自治の活性化を図って欲しいと要望しました。

・武道振興に向けた取り組みについて

武道の必修化の進捗及び武道振興に向けた取り組みと武道館の設置を要望しました。

・公共施設の耐震化について

市立小中学校、幼稚園、保育園施設の耐震化について計画通の実施を要望し、民間保育所への働きかけについても確認しました。

・市廃棄物の減量化について

適正処理に関する条例の趣旨を明確にすることを要望しました。

・新病院の独立法人化について

職員の身分や勤務条件について十分な説明をすること。病院の環境整備と人材の育成を行い、患者サービスや提供する医療の質の向上を要望しました。

・雇用の在り方について

ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)と要員管理を適切にすることを要望しました。

・市民後見人について

堺市の現状と今後の考え方、権利擁護に関する検討会の意見を踏まえた取り組みを図ってほしい、と要望しました。

建設委員会において

・阪神高速大和川線について

工事の進捗状況と今後の取り組みについて確認しました。

・新金岡80号線外整備工事について

工事の中止と今後の取り組みについて確認しました。

平成23年度 予算編成に関する 提言・要望



誰もが安心して子どもを育てることができ、かつ将来にわたり住み続けられるまちづくりを目指すと共に、歴史文化資源を有効活用しながら、文化観光拠点の形成を図り、都市魅力を創出させる事業を推進することで、「堺市に訪れたい」と誰もが思えるまちづくりに継続的に取り組んで頂きたいと考えます。また、環境モデル都市として、低炭素都市「クールシティ堺」実現に向け、自転車走行環境の整備をはじめとする本市独自の施策推進に積極果敢に取り組んで頂きたいと思います。

上記を十分理解いただき、市民生活の質を高めるため予算編成に反映させていただくよう市長に提言・要望致しました。

おだち源幸参議員議員が 財務省政務官として活躍

大阪府連所属のおだち源幸参議員議員は、2010年9月、財務大臣政務官に任命されました。おだち参議員議員は、就任当初「身の引き締まる思いだ。参議員選挙で大阪の皆さんに頂いた温かいご支援に応えるためにも、また、国民の生活が第一の政策の実現の為にも全力で頑張りたい。事業仕分け人としての経験を生かして、無駄遣いの撲滅、真に国民の為になる予算の実現の為に、粉骨砕身全力で頑張る。」とコメントされており、その思いを現在も継続し活躍されている。

